

## 訂正とお詫び

日本産科婦人科学会雑誌71巻11号掲載、平成30年度倫理委員会 登録・調査小委員会報告(2017年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および2019年7月における登録施設名)の表6と表11に誤りがありましたので、お詫びとともに訂正いたします。

修正部分は各表の太字で記載した部分となります。

2020年4月1日  
公益社団法人日本産科婦人科学会

表6 体外受精・胚移植等治療周期数からみた施設数の分布〔2017年〕

治療周期	IVF-ET	Split	ICSI (射出精子)	ICSI (TESE精子)	GIFT*	凍結融解胚 (受精卵)	凍結融解未受 精卵	その他	医学的適応に よる妊孕性温 存	合計
1~10	83	174	40	194	0	47	75	148	90	25
11~50	157	161	130	41	1	82	3	27	15	62
51~100	96	57	89	4	0	66	0	11	0	48
101~150	67	15	58	0	0	63	0	3	0	31
151~200	54	10	45	0	0	49	0	3	0	35
201~300	38	12	47	1	0	67	0	1	0	66
301~400	17	11	34	0	0	55	0	0	0	43
401~500	11	5	17	1	0	25	0	0	0	47
501~600	11	1	10	0	0	23	0	0	0	37
601~700	5	3	7	0	0	17	0	1	0	19
701~800	3	0	2	0	0	16	0	0	0	23
801~900	6	0	2	0	0	10	0	0	0	16
901~1000	2	0	2	0	0	9	0	0	0	13
1001~2000	9	0	27	0	0	31	0	0	0	70
2001~3000	0	1	1	0	0	6	0	0	0	21
3001以上	1	0	3	0	0	3	0	0	0	30
合計	<b>560</b>	<b>450</b>	<b>514</b>	<b>241</b>	<b>1</b>	<b>569</b>	<b>78</b>	<b>194</b>	<b>105</b>	<b>586</b>

\*GIFT:未受精卵の移植が実施されている場合のみを集計した

表11 治療法別出生児数および累積出生児数〔2017年〕

	治療周期総数	出生児数	累積出生児数
新鮮胚(卵)を用いた治療	249,225	8,557	<b>353,605</b>
体外受精を用いた治療	91,516	3,731	<b>240,985</b>
顕微授精を用いた治療	157,709	4,826	<b>112,620</b>
凍結胚(卵)を用いた治療*	198,985	48,060	347,543
合計	448,210	56,617	584,457

\*凍結融解胚を用いた治療成績と凍結融解未受精卵を用いた治療成績の合計